

近未来農業の味わう

豊橋で豚肉と野菜の試食会

本 来 農 業
ネ ッ ト ワ ー ク

本来農業ネットワーク（石黒功代表理事）が取り組む農業活性化事業「真の農業大国へ！『穂の国から近未来農業発信』の下で育てた野菜と豚肉の試食会が8日、豊橋市のホテルアークリッシュ豊橋で開かれた。公募の市民と飲食・流通業者30人ずつから今後の事業の参考とすべき意見を聞いた。



この事業は、2つの柱で東三河の農業を活性化するもの。1つは、土壌改良で環境に優しく、ミネラル豊富なキャベツ、サニーレタス、ミニトマトの開発と販路構築。もう1つは、スーパーや畑から出る食品かすを飼料化した豚肉のブラ

野菜と豚肉の料理を試食する出席者（ホテルアークリッシュ

ンド化による資源循環体制の整備だ。今年度の経産省「地方の元気再生事業」に認定された。出席者は、同ホテ

ル酒井淳総料理長が作った素材本来の味を引き立てる特別メニューを試食、感想をアンケート用紙に記入した。アンケートでは、野菜の味、食感などについては好評、東三河の農業に対し「さらになんばってほしい」という意見が多かった。